

がん登録とは

「がん登録」とは、がんの罹患や転帰その他の状況を登録・把握し、分析する仕組みであり、がん罹患数・罹患率、がん生存率、治療効果の把握など、がん対策の基本となるデータの把握のために必要なものです。

「がん登録」には、3つの登録があります。

「全国がん登録」とは

「全国がん登録」は、「毎年どのくらいの人が新たにがんと診断されているのか」すなわち、がんの「罹患数」などを把握しています。

[「全国がん登録」についてはこちら](#)

「院内がん登録」とは

「院内がん登録」は、医療機関ごとにがんのデータの収集、解析などを行っております。また、「全国がん登録」にて、都道府県にがんの情報を提供する役割もあります。

[「院内がん登録」についてはこちら](#)

「臓器がん登録」とは

大学と主要な医療施設が参加し、学会・研究会が中心となって、臓器別に全国規模で実施されているがん登録のこと。がんの臨床病理学的特徴と進行度の正確な把握に基づく適切な治療指針の確立、進行度分類のあり方などを検討することを目的としています。

これらのデータにより、罹患数からは、国のがん対策や都道府県の地域医療計画に活かされます。また、がんの進行度や生存率などの情報からは、治りやすさの目安にもなるため、医師と患者が治療方針を考えるうえで重要な情報のひとつになります。

このように、がん登録のデータによって得られた統計情報はいろいろな場面で役に立っており、私たちがよいがん医療を受けられる体制をつくるためには、なくてはならない制度なのです。そして、より正しいデータを収集するためには、がんに関する情報を提供していただくがん患者をはじめ、一人一人の市民の理解と協力が何よりも大切になっています。

詳しくは、各ホームページを参考にしてください。

【がんの基礎知識】

[国立研究開発法人国立がん研究センターがん情報サービス](#)

【がん登録・統計】[【がん情報サービス】](#)

[国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター](#)

[ぎふがんねっと「岐阜県のがん登録」](#)

[岐阜県がん患者支援情報提供サイト](#)